



【グローバル社会を担うためのグループワーク I】

《目的・ねらい》

〔目的〕グローバルな仕事に携わっている方々とのグループワークを通し、日本の各産業がグローバル社会で大きな役割を果たしていることや、その重要性を理解する。

〔ねらい〕船舶産業がグローバル社会において果たしている重要な役割に気付く。



《実施内容》

◆企業の方々とのグローバル社会についてのグループワーク

○日時 平成30年12月5日(水) 3・4限目

○対象 機械造船科1年生 40名

○取組 ・グローバルな仕事の紹介：産業全般について
・グループワーク

主題「グローバル社会と日本の産業」



《グローバルな仕事の紹介（講師：今治市）》

・日本は国際社会の大きな市場の中で経済活動を行っておりこの活動が人々の生活を支えている。また、日本の輸出入に伴う輸送の99.6%は船舶が担っている。

《グループワークの助言者》

〔船舶産業〕今治造船、日本海事協会、愛媛海運

〔機械産業〕三浦工業、四国溶材



《生徒が学んだこと・今後取り組みたいこと》

- ・船舶関係の仕事は外国の方が多いためコミュニケーションを取ることが大切だということ学びました。
- ・言語や文化など、様々な違いはあるが、相手のよさを認めた上で、日本のよさを話すことにより、互いに認め合える。
- ・高校3年間、英語の勉強や資格取得に頑張っていきたい。



《実施後の講師意見・感想》

- ・生徒はしっかり質問できており、よかったのではないかな。
- ・バリシップを見学するとよいのではないかな。船舶産業が、いかにグローバルな産業であるか理解できる。



《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

グローバルな企業の経験豊富な方々による経験に裏打ちされた話には説得力があり、生徒の質問も活発であった。

この3年間で改善を重ね、とてもよい取組となった。

